



旧町長などに退職金上乘せ 余分に4,000万円も支払い済

旧5町理事者の退職手当組合加入(網野のみ未加入)の町長、助役、収入役、教育長の退職金が、合併に伴い通常の1.5倍(余分だけで合わせて4,000万円)も支払われていたことがわかりました。退職手当組合の条例で1.5倍を決めているのは、全国で4道府県のみ。各旧町の独自施策が縮小・廃止されたり、職員の給与カットまで行われているようなときに、庶民の感覚ではどうも理解できません。

京丹後市
9月議会

日本共産党京丹後市議員団は
くらし応援する施策継続を断ち切る駆け込み事業を実施の15年度決算に反対しました(網野町決算には賛成)

15年度決算審査

15年度旧町決算は、各町が厳しい財政状況の中でも子育て支援や若者定住対策、住宅改修事業など独自の施策(合併で廃止・縮小)で住民のくらしや営業を守ってきたことは評価する面もありました。しかし、合併前の最後の年ということから基金(貯金)を取り崩してのかけ込み事業や、不明瞭な補助金などの支出がなされており、結果としてそのことが市の財政運営を一層きびしくしています。一方で、不況の中、介護保険料の減免など住民の切実な願いはとりあげられず、くらしをますます圧迫しています。

決算の審査を通して各旧町の優れた施策や教訓、問題点が明らかになりました。日本共産党は、きびしい財政状況だからこそ京丹後市のまちづくりにこの教訓をしっかり生かし、みなさんのくらし応援の施策の実現へがんばります。



「決算認定」異例の継続審査

久美浜町の決算審査の質疑で、シルバーハウスの契約内容の変更、くみはまSANKAIKANへの補助金問題、納豆工場誘致の条件、契約内容など不明な部分が多くあり、継続審査の動議が出されました。決算認定が継続審査となるのは異例のことです。日本共産党議員団は真相を明らかにするために全力を尽くします。

問題点を指摘して補正予算には賛成

一般会計補正予算は、生活保護扶助費に1億円を、災害復旧費など欠くことのできない内容であり賛成としました。なお、丹後の魅力発信拠点整備事業として首都圏や京阪神に施設をつくるための予算があり、質疑の中で、これまで多くの自治体で失敗しているところがあるなど事例を示し、絶対失敗はゆるされない、市長もその腹づもりでやるのかと、ただしました。市長もその決意していると答弁があり賛成しました。

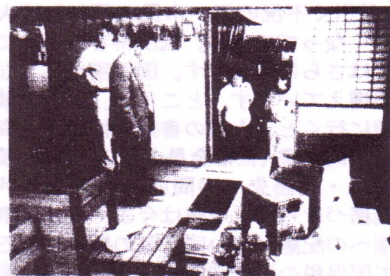
「郵政公社存続の意見書」日本共産党が提案

郵政三事業の現行の経営形態の堅持を求める請願が出され趣旨採択(事実上は否決)されました。ところが、驚いたことに趣旨に反する民営化を進める内容の意見書が、他党派から出され、賛成多数で可決しました。議員としての見識が問われます。

日本共産党議員団は、請願の趣旨にそった内容で意見書(対案)を提出しました。現行の経営形態を堅持し小さな町や村にある郵便局を残すことなど住民の立場で論戦をおこないました。

台風21号被害調査と申し入れ

10月2日、日本共産党市議員団と梅木紀秀府会議員は、市内各地の床上(右写真)・床下浸水、農作物被害、河川のり面崩壊などの視察と各市民局へ申し入れました。それぞれの市民局ごとに対応の違いがあるなど、ここにも合併の弊害が現れていました。議員団は、18日、市に改善と統一化を早急に行うよう申し入れました。



日本共産党

京丹後市議会だより

日本共産党京丹後市議員団

2004年 10月19日
NO 2

京丹後市峰山町荒山
日本共産党丹後地区委員会
TEL 0772-62-1159

ご意見など お気軽に連絡下さい

松田 せいけい TEL 82-0755

森 まさる TEL 72-1761

平林 ちえみ TEL 65-3663